

12/4~12/10 (水~火) 人権週間作品展

船穂公民館ホワイエに船穂小学校・柳井原小学校・船穂中学校の児童・生徒のポスターや標語、習字など人権作品を展示しました。

入選作品



人権ポスター・標語・習字の紹介



ほのぼのの写真



船穂小学校児童の作品



柳井原小学校児童の作品



船穂中学校生徒の作品



… 船穂公民館からのお知らせ …

改修工事のため **全館休館** します

【期間】 **令和7年4月1日より**

● 全館：令和7年7月31日まで

● 大ホール：令和8年3月31日まで

船穂公民館 第2回人権教育講演会 こどもの権利を守る地域づくり

～困難な状況に置かれたこどもたちや保護者の声から～
川崎医療福祉大学 医療福祉学科 な お し ま か つ き 直島 克樹さん



「講師プロフィール」

「こどもを主体とした地域づくりネットワークおかやま」代表、「子どもの貧困対策センター公益財団法人あすのぼ」アドバイザー、岡山市児童福祉審議会委員、一般社団法人「岡山こども食堂支援センター」代表理事を務める

経済的困窮、虐待、孤立など、困難な状況の中で、声を上げることもできないこどもとその家族の実情。直島先生は、その声に寄り添い、居場所としての「こども食堂」をはじめ、様々な支援活動に携わっていらっしゃいます。地域で支えることの大切さと、それぞれの立場で今できる支援について教えていただきました。

参加者の感想

- 「こどもの声を聴く」ことが大切だと改めて思いました。特に発言のない子、少ない子にもしっかりと耳を傾けていきたいと思いました。またこどもたちの「あたりまえ」は、大切にしていきたいと思えました。できることをできる範囲で貢献できるといいなと思いました。
- 「困った親」は「困っている親」という言葉がとても考えさせられました。こどもの方々に、お願いすることや求めることばかりになっていたのではと反省しました。「困っている親」という意識をもって、寄り添ったり、思いを聞いたり…できることは他にもあるということを感じました。
- こどもたちの置かれている状態（現状）、たくさんの具体的な例をわかりやすく話していただき、自分のこととして考えることができました。（まず：知らないことが多かった）話をお聞きしながら、自分は何ができるかな、と考えはじめていました。